

# ふくい女性ネット REPORT

## 新鮮な風を受けて！

仕事に家事に忙しい福井の女性たち。

職場と家庭の往復だけになっていませんか？

一步、外へ歩き出してみると、新鮮な風を受けて、新たな発見をすることができますよ！

今回は、キャリアアカデミー公開講座とふくい女性ネットが企画・運営した「女性が活躍できる職場づくり」フォーラムのレポートです。

### 武内陶子さん講演会

#### ～ 母・妻・そしてアナウンサーとして ～

キャリア・アカデミー公開講座

日時：平成 20 年 10 月 19 日 13:30～15:00

場所：ユー・アイふくい

#### 《講演内容から》

##### ◇ 突然の紅白総司会

プレッシャーで押しつぶされそうになったが、極限に自分をおいこんでいく仕事に向かうことで、内面の自分と対話することができました。

##### ◇ 結婚、育児を経験して

就職活動では、結婚後女性が働くことに否定的な面接官がいたりしました。結婚すると「子ども産まないの」と心ない言葉にストレスから子宮筋腫になってしまいました。また、出産後は育児に悩み、ノイローゼのようになってしまいましたが、同じように育児に悩んでいる女性たちと知り合い、楽になりました。

##### ◇ 家事・育児・仕事

家事・育児・仕事に追われてのりしろの部分の時間がないですね。両立とは時間をつくりだす、母になったらそうならざるを得ないのだと思いました。逆に、仕事があるからこそ on/off ができますし、家庭も仕事も達成感が得られるのではないかと思います。

会社の中で、子育て中の女性はなかなか評価してもらえず悩んだこともあります。働く女性たちが自分を追い込まないように、自らが声を出して周囲にアピールすることで、男性の理解も進むと思います。女性たちはみんな奥ゆかしい。福井の女性にもあてはまるのではないのでしょうか。女性たちの魂のこぼれをTVを通して伝えていきたいと思っています。





## 《ふくい女性ネットインタビュー》

### ▶ 自分を磨くためにどう勉強をしていけばよいか

辛いときには、上司、本、ことば・・・何か助け舟をもらってきました。辛い思いをしているときに心を開いていると、飛び込んでくるものだと思います。今、頑張らないとあとがないと思っています。

### ▶ 子育て中の女性がなかなか評価されないが

評価してもらうために不足しているものは何か（時間、社会貢献、・・・）を明らかにして補填していかなければならないと思います。また、周囲に対して不足を主張するだけでなく、自分自身を改善していく気持ちを持つことも必要だと思います。

評価してもらうためには、女性が声をだしていった周囲の男性を巻き込んでいくことが大切です。ただし、“トゲ”ではなくしなやかに。

### ▶ 福井の女性は働きものですが“管理職になりたいと思わない”というアンケート結果がでた。

私は、女性のネットワークに参加していて、毎月勉強会やメーリングリストなどで、働く女性としての心の持ち方など、ヒントをもらっています。

外からの刺激（話を聞く・見る・出かけていく等）を受けて、自分とはちがう考えに触れる、気持ちを分かち合うことで、向上したいと思っている自分に気づくことができるのではないのでしょうか？

また、上を目指すのであれば、その気持ちを職場の上司や周囲の人たち知ってもらう工夫も必要です。是非がんばってください！



## 武内さんとお話して

当初の予想を大幅に超える470名が参加したこの講演。いつものキャリア・アカデミー講座とはちょっと年齢層が高かったようにも見えましたが、武内陶子さんの人気ゆえでしょう。テレビ画面を通して魅力のある方だなと思っていましたが、お会いすると数倍魅力的で、お話を聞くと更に素敵な女性でした。講演後の質問をとの問い掛けに、感極まった高齢の男性が手を挙げ、「あなたは天才だ」と質問というより褒めちぎっていたのですが、その行動も妙に納得させられ「ガンバレおじいちゃん」と応援していました。

マスメディアという世界の中で活躍され、遠い存在のような気がしていましたが、福井の女性と同じように仕事に悩み、子育てに悩み、ワーキングマザーとして悩みながら、自分の道を切り開かれている等身大の姿に共感がありました。武内さんが折に触れ色々な方からいただいた言葉が新しい方向を見出してくれているように、私には武内さんの経験が、胸にすっと入ってきました。明日から、頑張りすぎずにしなやかに頑張ろう！と思えるいい時間を過ごすことができ、この機会を与えてくれた方々に感謝申し上げたいと思います。





「女性が活躍できる職場づくり」フォーラム  
日時：平成 20 年 11 月 28 日 13:30～15:30  
場所：ユー・アイふくい

11月28日 ユー・アイふくいにおいて、福井県主催、NPO 法人 J-Win 共催、ふくい女性ネット企画運営によるフォーラムを開催しました。

あいにくの雨もようの中、女性のキャリアアップや職場のダイバーシティに関心のある方々が大勢参加してくださいました。

F ネットのメンバーの進行で、加藤会長、福井県大沢総務部長の挨拶のあと、NPO 法人 J-Win 幹事長 鈴木あやさんの講演が始まりました。

## 「案ずるより産むが易し。管理職って案外楽しい！」

NPO 法人 J-Win 幹事長 鈴木あやさん（日本アイ・ビー・エム(株)理事購買担当）

鈴木さんのご経歴とキャリアアップの道程の中で、さまざまな経験をお話いただきました。プロフェッショナルとはどういうことか、企業と自分の位置づけ、仕事への取り組みの姿勢について、また、真剣に向き合ってきた方だからこそ笑って語れるような失敗談などもまじえて、教えていただきました。

女性も男性もなく、能力と能力の戦い、また共存の場での切磋琢磨で生きてこられたからこそ、鈴木さんの輝かしい笑顔であり、エネルギーに満ち溢れたお話なのだなと感じました。

自分も管理職のはしぐれではありますが、真剣さにおいても、バイタリティーにおいても、何もかもにおいてとても足りていないし、自分のあり方について、見直していかなければならないと深く感じました。管理職が楽しいと言えるようになるまでの悟りにはまだ程遠いかもしれませんが、何事においても最後まで勉強だと思いました。



## トークショー「女性が活躍できる職場づくり」

コーディネーター 鈴木あやさん

青沼真美さん（KDDI(株)ダイバーシティ推進室長）

小林泰子さん（日本アイ・ビー・エム(株) ibm.com 事業セクター事業部長）

三浦史野さん（株損害保険ジャパン人事部女性いきいき推進グループ課長）

講演をしていただいた鈴木さんのコーディネーションのもと、J-Win の理事・幹事として活動中の3名の方にお越しいただき、さまざまな経験談をお話いただきました。皆様現在の立場になるまでにいろいろな道を経られてますが、それぞれ違ったものの捉え方や対処法などをお持ちで、ひとつひとつになるほどと感心することばかりでした。皆様に共通して感じられたのは、ひとつたい芯が通っているなということでした。

仕事を labor ではなく work とし、充実した人生を、自らの力で築きあげて来られた方々の肉声に触れることは、働く女性にとって、目標となったり支えとなったりエネルギーの素となる貴重な時間だと思います。視野の広がる楽しいトークショーでした。



## 《交流会》

フォーラム後、トークショーに出演された4人の J-Win メンバーと希望者による交流会を行いました。

J-Win メンバーがそれぞれテーブルに座り、参加者の皆さんが10名程度に分かれてそのテーブルを囲み、意見交換をするという形式をとりました。

参加者からは、「話を聞く姿勢でできたが直接話をするのができ、良かったです」「結婚して仕事をやめてしまって少し失敗だったかも・・・これからも頑張っていこうと思いました」「とても貴重な時間になりました」など、満足したという意見が多く聞かれました。J-Win メンバーからは、「みんな悩みは変わらないのだと思いました」「このような活動をしている県は珍しいです。これからもネットワークを大切にしていってほしいです」「私たちも自分達だけで話し合っているより、こうやって外に出て話をするので、とても勉強になります」との感想を頂きました。







### 《ふくい女性ネットインタビュー》

フォーラム後、情報発信部会がJ-Winのメンバー取材しました。  
取材は終始和やかな雰囲気、笑い声が絶えず、取材というよりは雑談会のようなものでした。

#### ▶「自分を管理職に」と上司にかけあったような経験は？

そういった経験はないですね。日本企業はとくに直談判は難しいですね。しかし、常に自分が何をしたいのか、次に何をやりたいのか明瞭にして上司に伝える必要があります。もちろん部下にも聞くようにしています。常に頑張っている必要はなく自然体でいることが良いが、そのなかで飛び込んできたチャンスはつかむ事が大切です。もちろんつかんだ以上は手放さない。「馬に乗ったら降りない！」

チャンスの神様は前髪しかなく、後ろは禿げてるっていいますよね。前からやってきた時につかまなければ、「あっ・・！」と思ったときにはつかめなくて逃してしまうのです。

#### ▶ 現在私は、目先のことで精一杯ですが、管理職につく方々は物の見方が違うのでしょうか？

物の見方に違いなどありませんよ。立場上の違いなどは多少ありますが。

物事に対して自分ならこう考えるが、上司ならどう考えるだろう、同僚ならどう考えるだろうと考えるようにしています。周りの人達から助言を得たりもします。周りのことを考えられるようになると幅も広がると思います。

昔の上司に「自分の時間の3割は目先のことでなく、先を考えるようにしないとイケない。管理職である以上、組織をこの先どうしていくのかを考えないとイケない。そういうくせをつける必要がある」と言われました。

#### ▶ ふくい女性ネットの今後の活動へのアドバイスをお願いします。

私たちが12~3人ではじまりましたが、現在は200人以上になりました。私たちが会社から行くように言われただけで、何をしたらいいかも分かりませんでした。仕事もあるし、月1回の例会で思いをアウトプットしていくのは難しいので、コミュニケーションを図るためにSNSを立ち上げて利用しています。



ネットの皆さんも企業からの推薦で参加されていると思いますが、ネットの活動を会社側にフィードバックできていますか。企業から派遣して頂いている以上、それを行わないと次につながっていきません。J-Winでは拡大会議を行い、活動の成果を会社のトップに紹介しています。トップにみてもらうのが大切です。

### 取材を終えて

管理職につく女性は特別な人間ではなく、チャンスを見逃さなただけである。それは男性、女性は関係なく、常にアンテナをはっているからこそチャンスを逃さずにつかむことができるのだと思いました。